

「復興農学会」事務局会議（仮称）（試行） 議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2020年5月11日（月）9時00分～10時00分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 溝口 勝（東京大学）、内田 修司（福島高専）、伊藤 央奈（郡山女子大学）、菅原 優（東京農業大学）、青木 英二（福島高専）、新田 洋司（福島大学）、丹野 史典（同）、松島 武司（福島イノベ機構）

欠席等連絡者 大川 泰一郎（東京農工大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、登尾 浩助（明治大学）、川妻 伸二（福島高専）、石井 秀樹（福島大学）  
（敬称略）

議事（案）

1. 会則について【資料】（新田）

新田より資料にもとづいて会則（案）の説明があり、審議した。審議の結果、以下の修正を加えることとなった。▼第1条で「公害・」を削除する、▼第1条で「農学・農業（農林水産業等）分野」とする、▼第4条（1）で「賛同する市民、教育研究関係者等」とする。

2. 「シーズ集」について【資料】（新田）

新田より「シーズ集」の形態、編集方法、公開方法等について審議提案があった。審議の結果、以下の諸点が了承された。

- ・福島イノベ機構が持っている「分野表」を活用し、第1面に貼り付けるなどして、その下に各大学・研究者等のページをぶら下げる。
- ・各大学・研究者等のページは新規に作成するのではなく、各大学等が公表しているシーズ集・研究者情報等のWebにリンクを張る形態とする。「リサーチマップ」も活用しリンクを張る。

3. 「復興農学会」の進め方について（新田）

(1) 事務局会議について

新田より会議の開催方法等について説明と提案があった。審議の結果、当初案のとおり、▼週に1回ほどの頻度で、毎回1時間程度、Zoomで開催すること、▼毎週月曜日17時からの開催を基本とすること、が了承された。

(2) 全体会議について

新田より全体会議の開催方法等について説明と提案があった。審議の結果、▼月に1回ほどの開催頻度はハードだが、やり方を工夫して原則開催する、▼各大学等に各回の担当を委ね、各大学の「イベント」等とジョイントして開催する方法でもよい、▼第1回は東京農工大学に担当を依頼する、等が了承された。なお、第1回の開催については、新田から大川 教授に相談することとなった。

また、第1回は復興農学会の正式発足のため、会則の決定、シーズ集の決定等も予定しているため、開催内容、日程等について福島大学が調整することとなった。

(3) 「ロードマップ」について

新田より復興農学会の「ロードマップ」について説明と審議提案があった。審議の結果、▼今年度の1年間のような短期間のロードマップの作成が必要であり、福島大学が原案を作成すること、▼近未来のロードマップの作成も進めること、▼5～10年間のロードマップも必要と考えられ、今後検討を進めること、等が了承された。

(4)「会報」について

今後、「会報」の発行が必要との意見がだされた。審議の結果、▼今年度を含む当面は、各大学の事業成果や「イベント」実績等を綴ることも考えられること、▼将来は査読付き論文を掲載することを目指して、その体制を構築していきたいこと、などが確認された。

次回 2020年5月18日(月)17時00分～18時00分 ZoomによるWeb会議

以上